

優先交渉権者選考審査基準及び企画提案書記載項目

評価分類	配点	評価基準	
		提案を求める内容	評価のポイント
1. 電子書籍サービスにおける基本的考え方	5	・本館の現状や課題を踏まえ、電子書籍サービスの提供における公共図書館の役割や努めについて明確に理解し、事業実施にあたっての基本的考え方、応募に至った経過など、確立した理念や抱負、ビジョン等について、示すこと。	・本館の電子書籍サービスの導入の目的、内容を十分に理解した上で、提案内容がポイントを押さえ、わかりやすく整理されているか。
	5	・他自治体へのシステム導入及び運用に関する実績について示すこと。	・電子書籍サービスの導入実績業務に関連した十分な受託実績があるか。
	5	・クラウドサービスの全体像を示すこと。(全体俯瞰図を示し補足説明を用いて提案すること。) ※甲府市立図書館電子書籍貸出システム調達・運用業務仕様書2ページ「9 システムの構築要件」を参考に示すこと。	・電子書籍サービスの提供に係る全体像や特徴が具体的に示されているか。
2. 電子書籍サービスの品質向上への取組	10	・利用者に対するアクセシビリティの観点から、画面構成や利用しやすさ等について提案すること。 ・その他、電子書籍サービスの品質向上などにおける取組について示すこと。	・利用者にとってわかりやすく、満足度が高い電子書籍サービスであるか。
	10	・電子書籍の充実度について具体的に示すこと。なお、電子書籍の選書からサービス提供までの本館との連携・役割分担について示すこと。	・電子書籍が充実しているか。 ・選書からサービス提供までに関する一連の流れについて、当館職員の負担軽減が図られているか。
3. 構築業務	10	・障がい者等が操作可能な利用支援機能について、具体的に提案すること。	・障がい者等が利用しやすい機能を有しているか。
	5	・構築体制及び本館との役割分担について示すこと。 ・主任担当者等の実績と稼働割合を示すこと。 ・WBSを用いて、構築スケジュールを示すこと。(2階層程度) *詳細スケジュールについては、優先交渉権者との契約交渉において協議する。 ・本館担当者とのコミュニケーション手法について示すこと。	・構築体制及び本館との役割分担について合理的であるか。 ・主任担当者等の実績と稼働割合が本事業を達成するために十分なものであるか。 ・適切な工程が示されているか。 ・本館担当者と確実なコミュニケーションが図られる手法であるか。
	5	・操作研修の手法について示すこと。 ・研修テキストについて、サンプルを示すこと。 ・稼働前後の立会い等サポート内容について示すこと。	・効果的な研修カリキュラムとなっているか。 ・研修テキストについて、わかりやすいか。 ・稼働前後のサポートは、適切なものか。
4. 運用保守業務	10	・サポート窓口の運用について具体的に示すこと。 ・計画停止について、過去3年間の実績を示すこと。 ・システムを安定稼働させるための方策を具体的に示すこと。 ・障害発生時における対応について具体的に示すこと。(障害対応において迅速な対応を求める。障害対応における情報提供及び連携について提案を求める。) ・SLA(サービスレベルアグリーメント)等の資料が提示できれば、別途参考資料として添付すること。	・問い合わせに迅速に対応できる体制となっているか。 ・問い合わせが理屈化しないための取り組みが示されているか。 ・システム監視や障害検知、バックアップ等の手法について示されているか。 ・障害発生に迅速に対応できる体制になっているか。
	5	・機能改善、追加等のシステムのバージョンアップについて考え方を示すこと。	・社会的変化に対応できるシステムとなっているか。 ・機能改善に対する前向きな姿勢が認められるか。
	5	・不正アクセス防止のための対策について、具体的に示すこと。 ・その他、セキュリティに関する脅威について対策があれば示すこと。	・機密性、完全性、可用性の要素を満たすセキュリティ対策がなされているか。
	10	・電子書籍サービスの利用促進につながる具体的な方策について提案すること。(本館が主体的に行う活動の提案も認める)	・有効性や実行性が高い提案内容か。
5. その他	5	・様々なイベントを通して、本と親しめる環境づくりなどについて提案すること。	・本の楽しさを広く市民に伝えることができる魅力的な提案となっているか。
合計	90		